

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 畜産GAP拡大推進加速化事業費（国補）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

農政部 畜産振興課 銘柄推進係 電話番号：058-272-1111（内2877）

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,423千円（現計予算額： 0千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	1,423	1,423	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・GAPは、その認証取得が2020年東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準に採用されただけではなく、GAPへの取組み自体が、食品安全、家畜衛生、環境保全、労働安全、アニマルウェルフェアなどの確保のための点検、改善の実施により、持続可能な農場経営を目指していくものである。
- ・GAPへの取組みは、生産農家個々の取組みには限界があり、GAP指導技術をもった指導員を育成し、指導、支援していく必要がある。

（2）事業内容

- ・高度なGAP指導技術をもった指導員の育成・維持更新。
- ・県内畜産農家等におけるGAPへの取組みを推進、指導し、ひいてはGAP認証取得農家の増加を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

国事業を活用（国 10/10）

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	70	コンサルタント料
旅費	70	コンサルタント旅費
負担金	1,283	指導員基礎研修受講料、JGAP 審査料（審査員旅費含む）
合計	1,423	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019～2023 年度）
Ⅱ－3－（3）農林畜水産業の活性化
②「未来につながる農業づくり」の推進
- ・ぎふ農業・農村基本計画（令和 3～7 年度）
第 6 章－1－（2） 安心で身近な「ぎふの食」づくり
②安心と信頼を届ける農畜水産物の生産展開

(2) 国・他県の状況

- ・持続的生産強化対策事業（国）

(3) 後年度の財政負担

- ・今後、流通業界から G A P 認証取得を求められることも想定し、県の指導体制を維持していく必要があり、指導員の新規養成及び更新（2 年ごと）が必要となる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・畜産GAPへの取組みを通して、県内畜産農家の持続可能な農場経営を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
		1	2			
GAP認証取得経営体数	0 (H28)	1 (H30)	2 (R1)	3 (R2)	5 (R3)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 JGAP指導員研修への参加 12名（新規6名、更新6名）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 JGAP指導員の養成 6名
 JGAP指導員の更新 6名
 指導員による農家等への助言・指導

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	持続的な畜産経営のためには、GAPへの取組みが有効であり、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	県内における畜産のGAP認証取得はあまり進まない状況にあるが、教育機関や法人を中心に地域のモデルとなる経営体を支援し、GAPの普及を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	国事業に公募し、国庫補助事業費を活用している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 畜産GAP認証取得に向けた意欲ある生産者の掘り起こし。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内における畜産のGAP認証取得はあまり進まない状況にあるが、教育機関や法人を中心に地域のモデルとなる経営体を支援していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	